

応用化学系（学士課程）

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

応用化学系では、特に次のような学生を求めます。

- ・応用化学に関連する幅広い現象に興味をもち、未知の内容を理解、解明しようとする積極性を有する人
- ・応用化学の知見を活かして、環境との調和を図りつつ人類と社会の発展に貢献する意欲がある人

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

【一般入試（前期）】《全類共通》

求める能力と適性を有する人材を選抜するために、高等学校の段階の学力確認を行うとともに、本学で学ぶために必要となる、数学、物理、化学および英語に関わる基礎学力ならびにこれを応用する力、論理的な思考力を評価する試験を行います。

【特別入試（AO入試）】

《3類》

求める能力と適性を有する人材を選抜するために、以下の内容で試験を行います。

- ・筆記試験においては、科学全般を範囲とし、化学を中心とする知識及び考え方から出題します。特に論理的な思考力と文章力（記述力）を評価します。
- ・面接試験においては、科学的な知識及び考え方について問います。また、社会と化学の関係についての考察力・思考力と口頭発表による表現力を評価します。

応用化学系（学士課程）

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本系では、「ディグリー・ポリシー（修得する力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

- A) 応用化学分野の基盤学修
必修科目の講義・実験による基盤学修
- B) 応用化学分野の専門学修
選択可能な準必修科目の実験・演習と豊富な選択科目による専門学修
- C) 広い視野を養い、主体的に進める学修
学生自らがテーマを発掘して応募する創造実験などに加え、定期的オリエンテーション、専門相談教員との対面修学指導、研究室公開などを通じた、主体的に取り組む力をつける学修
- D) 社会との関わりを追体験する学修
社会で活躍する講師陣らによる、専門科目を通しての追体験学習や技術者倫理の学修
- E) コミュニケーション能力の強化学修
学士特定課題研究の論文作成に要求される文書化力と、発表会・ゼミ等を通じた発表力の養成学修

ディグリー・ポリシー（修得する力）

応用化学系では、次のような力を修得することができる。

- ・ 応用化学分野の技術開発に必要な理工系基礎学力と論理的思考力
- ・ 応用化学に関する諸問題について自分自身で解を見出す創造力と見出した解を産業へ応用する展開力
- ・ 環境調和型社会の発展の礎となる幅広く豊かな教養と技術に関する高い倫理観
- ・ 国際的な広い視野を持って建設的な意見を表現できるコミュニケーション能力とリーダーシップ力